

ON THE ROAD

久留米市立屏水中学校3学年進路通信 No. 2

2021. 4. 16 文責 保坂圭祐

第1回到達度テストを終えて

3年生での初めてのテストでしたが、いかがでしたか？（テスト前日の5、6限目に、テストに向けてクラスごとに学習する姿を見て、好結果が期待できるのではと思っています。）今年度の3年生は、第2回到達度テストが6月8日に、第3回が10月1日、そして第4回が11月1日と、合計4回の到達度テストが予定されています。しかも、到達度テストの間に、中間・期末考査や課題テスト等が入るため、テストが目白押しになりますが、テストに追われることなく、地道に学習を重ねていってほしいと思っています。

さて、昨日のテストを受けている時の姿で、気になったことがありましたので、今回はそのことを書こうと思います。

○机の下に落ちた消しゴムやプリントを拾うとしている...

入試の時にこのようなことをすると、本人はそのつもりではなくともカンニングととられます。消しゴムやプリントが落ちた時は、静かに手をあげて試験監督にとってもらおう。

○(眠っているかどうかは別にして)机にふせたり、お行儀良くじーつとしたりしている...

○答案用紙の中に答えを書いていないところがある...

これは、ある高校の先生に聞いた話です。入試の時に、同点が30人くらいいるそうです。そして、その全員を合格にできれば何も問題がないのですが、不合格者を出さなければならない時は、いくつかの判断材料があり、その中の一つに「受験中の態度」があるそうです。その具体的な態度とは、「最後まであきらめずに問題を解こうとしているか？」だそうです。

試験中（50分間）、最後まであきらめずに問題に取り組む力は、日々の授業でしか身につかない力だと思います。「試験の時だけ頑張る！」といってもムリな話だと思います。もう一度、授業中の自分の姿を振り返ってみてください。

また、「じーつとしている人」の中には、「もう完璧！」と思っている人もいるかもしれません。楽勝！と思える問題ほど、要注意です。すべてのらんに答えを書き終わり時間が余った時は、今度は解答用紙を見ずに、問題用紙に答えを書きながら問題を解いていくという方法はいかがでしょうか？逆に、何を書いたらいいのかわからない人は、デタラメを書きなさいというつもりはありません。何度も問題を読んで考えてみると、もしかしたら、他の問題の中に答えのヒントが入っているかもしれません。白紙ではなく、何かを書こうとすることが、最後まであきらめないことにつながると思います。

いかがでしょうか？今回のテストは結果が求められるものではなく、今の時点での自分の課題を見つけるものだと思います。解けなかった問題をこれから復習するとともに、テストの受け方についても振り返ってほしいと思っています。



第1回進路説明会

4月28日（水）に進路説明会を予定しています。案内状を配布しますので、保護者に出欠票を書いてもらい提出してください。